

## 「図書館フォーラムに参加して」

### 「異なる視点の大切さを実感」

大学院博士前期課程 異言語・文化専攻 言語文化コース 三浦知佐子 さん

発表されたお二人のお話の中で、進藤さんの「雑誌を活用する」という点や安福さんの「外国の若者は情報収集能力が優れている」という点が印象深かったです。また北欧には防音室があり飲食可能な図書館があるとの事には驚きました。

今回は市民の方から見た大学図書館ということで、お二方に共通している「社会に出ると勉強できる時間も静かな場所も無くなる中、図書館は落ち着いて勉強ができる場所であり、特に洋書の蔵書も豊富な外大図書館は貴重な存在である。」との見解に、学生が忘れてしまいがちな図書館の有難みを再認識できた良い機会であり「図書館を自由に使える学生時代に知識を蓄えるべき。」という意見に目が覚める思いがしたフォーラムでした。



### 「なるほど、そう利用するのか」

英米語学科4年次生 滝口翔子 さん

お二人とも、「資料が揃っているのにそれを活用しないのはもったいない」という思いがあり、それを実行している方たちだと思いました。どの資料はどの辺にあるのかを把握し、その新しい本をくたくたになるまで使い倒そうとする、知識に対する貪欲さには迫力がありました。自分も見習わなくてはと、家に帰ってから過去に一度読んだものを引っ張り出し、また読み直し始めたほどです。北欧の図書館事情の話や、お二人の外大図書館利用法の話伺い、本は身近に置き読み込んでこそ自分のもの出来るかと再認識できたフォーラムだったと感じています。よし、私も頑張らなくてはと身を引き締めることができました。